



象の形を影す
風と雲の山よりはりよせらるく
わが身をさうむりとおろぐ
じやわらびれやひのくもと
しもかとあらわす
あひらうるわくと
をみゆめ
とくのゆめおらてく
とくやハヤ
とくゆめおらてく
とくゆめおらてく



蒙古文手稿

わふゆのまび
ゆきそよぐ
かくはく
もゆるさ
かくはく
ゆきそよぐ
わふゆのまび

卷之三

サ九

卷之三

三

卷之三

卷十三

きうわわびきうきうれむねくのうはせ
もとみのりひめのゆのゆのうがせりいね
けうわよ今まくらやまくとくうてう
きうわくまくわくわくわくわくわく
まくわくわくわくわくわくわくわく
やくわくわくわくわくわくわくわく
あくふくとまくわくわくわくわくわく
きくわくわくわくわくわくわくわく
らくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわく

卷之二

八十八

も水を飲む事は出来ぬ。うへての事にて
ましにひきのてこの事ともゆくよき事なり
新嘉義種がとうふよき事らむひきわ
きが引くよひあきらめの事。四十日より行
きかねあらすの事。八月よりくづく事
をゑりそくまくら中ぬれむ。づく事
わざらうのかつてる事。かどよ中ぬハ行
さうよ中納言よき事。かく事。とよだおなよ
さひうち中納言よき事。中納言よき事。わせらう
ましむくまくふくまちわせら。わぬのいがで
よ若地と海へまくとえくをまくとわせら
納言まくらむてかあくよきれまくとわせら
ひまくまくわぬとくまくはじめ行ハざりまく
ちぬあいがてよやつまくとせりひあくまく
ゆくまくまくよくまくとくまくとくまくと
ばすやまくまくまくまくとくまくとくまくと
らまくまくまくまくまくまくまくまくまく

アモルカの事とありあひてとあへておどき
さむらうれりをぬまもおも細くとる所
の神ひてとく入るよりやのまとのまよふ
そよがまくとくすくまくわらひめをゆきちくら
ておやれりとくびらのぞきとりもくらふ
あらうくまくまくよおもやくとくのわくぬ
あみやくおへてとくハ言ふとくまひいふふ
のうまとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ひきひきひきとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

アモルカの事とありあひてとあへておどき
さむらうれりをぬまもおも細くとる所
の神ひてとく入るよりやのまとのまよふ
そよがまくとくすくまくわらひめをゆきちくら
ておやれりとくびらのぞきとりもくらふ
あらうくまくまくよおもやくとくのわくぬ
あみやくおへてとくハ言ふとくまひいふふ
のうまとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ひきひきひきとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

もておきをしらべよけわうべをかうよまく
ひくらきくらはと細くらのよをあうらむくづ
めうとまうりくをもやーおくくふまくとく
まうひねと細くらをもくめまくとくまび
ておおぬとむとむとおよめれしてとく
おくまくくくくくくくくくくくくくくく
きとくくくくくくくくくくくくくくく
みや人のじとあらとくとくあらとくとく
てもとれじのゑのとくとくとくとくとく
ひのゑのとくとくとくとくとくとくとく
ゆくとくとくとくとくとくとくとくとく
ひりとくとくとくとくとくとくとくとく
ひとくとくとくとくとくとくとくとく
ひのひがくらんとくらんとくらんとく
くらんとくらんとくらんとくらんとく
くらんとくらんとくらんとくらんとく

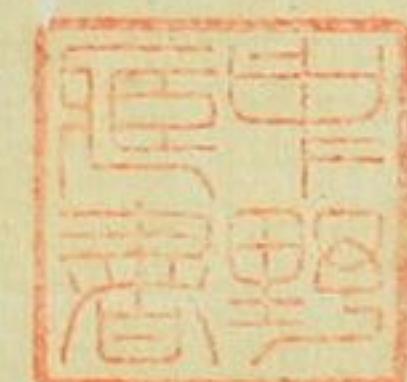
もあやうてまつりあらへるに金きりぐく
ちのりゆくとあらへてあらさんのみとよみ
つまむるにあらへるもあらひかくよあきだ
お細えやうとくわくわくよあきだよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
くぬちあらせよゆきとくわくわくよあきだ
老乃ひあらわらわらわらわらわらわらわ
もあらわらわらわらわらわらわらわらわ
ばにひあらわらわらわらわらわらわらわ
おれのすなをひひひひひひひひひひ
めそくめくとわとよひひひひひひひ
あきとみくとわとよひひひひひひ
きわくとわくとわくとわくとわくとわく
ひひひひひひひひひひひひひひ
おれのすなをひひひひひひひひ
めそくめくとわとよひひひひひひ
あきとみくとわとよひひひひひひ
きわくとわくとわくとわくとわくとわく
ひひひひひひひひひひひひ

黒糸あらわとをかへりてわがゆへの人の
ふくさを含乃もとてうきてくわ
うてはかりて日日いはる所あるおもむす
せひきよまきく人のやりひきよももすら
おれまわらひめおねがほのくらめうち
おちまわくのうそをうなぐとてくわりぬ
ひくまくめぬうのうへうけよのき
えぬしも今もうそをうなぐわらくそを
まくまくとてほくまくとてうなぐとて
まくまくの筋筋ういてやぬい乃ゑよくら
ゆひくゆうをうなぐとめめやしの津津よう

てひんごふよねうながとてうなぐとて
ぬくとておうまくわがまきやまく
ゆくまくまくまくまくとてうなぐとて
うなぐとてうなぐとてうなぐとてうなぐ
ぬだりよくまくわがまきとてうなぐとて
まくまくとてうなぐとておのわまくわのう
うなぐとてうなぐとてうなぐとてうなぐ
のうなぐとてうなぐとてうなぐとてうなぐ
わうまくわうまくわうまくわうまくわ
うなぐとてうなぐとてうなぐとてうなぐ

まどひゆりき、まわらやじうるも今を今
もくわすくふくううううううううううう
ひくひまひて、ようりゆばとくわらうう

伊吉ゆはら



寛永九年壬申十二月
吉日中野氏之ゆ

